



火の柱

Friends of Jesus 2025 年 6 月第 743 号

イエスの友五綱領

- ①イエスにありて敬虔なること
- ②貧しき者の友となりて労働を愛すること
- ③世界平和のため努力すること
- ④純潔なる生活を貴ぶこと
- ⑤社会奉仕を旨とすること

イエスの友会は、上の五綱領を、生き方の基盤としているキリスト者と賛同者の群れです。(結成1921年10月5日)

テーマ「聖霊に満たされて」使徒言行録4:21 1p「イエスの友会第百回夏期聖修会を迎えるにあたって」長谷川勝義 2p「講師紹介 稲垣久和氏、安間孝明氏」3p「講師紹介 遠藤正一氏」「神の国は近づいた」大野剛 4p「夏期聖修会スケジュール」「会計報告」「新役員」「会員募集」

イエスの友会第百回夏期聖修会を迎えるにあたって

副会長 長谷川勝義



イエスの友会
は、1921年
10月5日奈良
の菊水楼で賀川
豊彦を始め14
名の牧師たちが
集まって結成さ
れた。ヨハネによる福音書15章12節
から14節の「わたしのいましめはこれ
である。わたしがあなたがたを愛したよ
うに、あなたがたも互いに愛し合いな
さい。人がその友のために自分の命を捨
てること、これよりも大きな愛はない。
あなたがたに私が命じることを行なうら
ば、あなたがたは、私の友である。」の御言葉
から、この会の名前を「イエスの友会」と
して出発した。

1. イエスにありて敬虔なること
2. 貧しき者の友となりて労働を愛すること
3. 世界平和のために努力すること
4. 純潔なる生活を貴ぶこと
5. 社会奉仕を旨とすること

この五綱領の趣旨に賛同する者はだれでも会員になれると募集し、全国から多数の人が会員となった。毎年、聖修会を行い、賀川豊彦はじめ著名な講師によって

会員の研修を深めた。第一回の夏期聖修会は、1923年(大正12年)御殿場の東山荘で開かれ、戦時中を除いて毎年開催され、今年が第百回目の節目を迎えたのである。いろいろな所で開かれている。御殿場が多いが、意外な所でも開催された。高野山の多武峰という所とか比叡山延暦寺など、修験道場や著名寺院なども会場として、宗教の枠を超えて、研修を深めていたことがわかる。

今年、百回目を迎えるイエスの友会夏期聖修会だが、特記しておかなければならないことがある。それは、第一回の聖修会が1923年(大正12年)に御殿場の東山荘で8月25日から29日までの五日間行われたが、それが終わった直後、9月1日にあの関東大震災が起きたのである。賀川豊彦は神戸に帰っていて、この未曾有の大震災の報を受け、すぐさま神戸から船で横浜に駆け付け、悲惨な現状をまのあたりにした。彼はいったん神戸に戻り、イエスの友会の仲間呼びかけ、必要な準備を整えて、再び東京に向かい、それから、震災地に拠点を置いて、救済活動に専念した。賀川豊彦はイエスの友会が愛の共同体であることを実践で示したのである。

1925年(大正14年)の第二回のイエスの友会全国大会では、賀川豊彦は五綱領を具体的に実践するために25の実践目標を提案したが、その10番の日本基督教者百万人運動は、後に1929年(昭和4年)から5年かけて行われた「神の国運動」として実践され、大きな成果を上げた。戦後は、新日本建設キリスト運動として日本中を再びくまなく駆け巡り、日本人の精神的復興のために心血を注いだのである。

である。賀川豊彦は、1961年(昭和35年)に召され、その後もう60年以上たつが、イエスの友会は五綱領を目標にしてこれからも実践する愛の共同体を目指す。

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ一粒の麦のままである。
だが、落ちて死ねば、多くの実を結ぶ。
(ヨハネによる福音書12章24節)

このみ言葉にあるように、キリスト者として、神を愛し、隣人を愛することが、これからも求められる。今の世の中は、混沌として、各地に争いが起き、災害も多い。権力や武力が力をふるっている。神の御心は無視されている。正義や真実はどこへいったのか。憂えることが多い。しかし、私たちは、恐ろしい世の終わりが来ないように人々に、神の御心を伝えなければならぬ。争いを終わらせ、人々に休息を、貧しい人々にはいたわりを、飢えた人々には食べ物、傷ついた人々には癒しの手を伸べることを。

今年、第百回を迎える記念の聖修会、浜松で行われる。浜松は、長谷川保太郎教会に集う若者たちが霊に燃え、消費組合を作り、見捨てられた結核患者を引き取って保養所を作り、遂には今に見られる聖隷事業団を立上げた場所だ。まさに、聖霊に揺り動かされた愛の業が何人かの仲間の祈りと涙の結晶として実りをもたらした所。

講師も次ページで紹介するように素晴らしい方々だ。ぜひ、多くの方々に集まって頂いて、この大会が記念すべき、次への大いなるステップとなるように祈りたい。

一日目講師紹介

稲垣久和氏

1947年生まれ。1975年東京都立大



学大学院
博士課程
修了。ア
ムステル
ダム自由
大学哲学
部神学部
研究員、
客員教授
を歴任。

東京基督
教大学教授。キリスト教学・公共哲学。著
書に『宗教と公共哲学―生活世界のスピリ
チュアリテイ』（東京大学出版会、200
4年）、『国家・個人・宗教―近現代日本
の精神』（講談社現代新書、2007年）、
『実践の公共哲学―福祉・科学・宗教』
（春秋社）、2013年ほか。

講師の講演の要旨をお寄せいただき ました。

戦後80年、日本はあらゆる意味で縮
小しています。失われた30年と言いま
すが、その間に世界は激変しています。
日本独自の生き残り戦略を見つけるべき
時です。

新自由主義の行きわたった日本社会は
格差社会と孤立化、単身化で国民幸福度
は年々下がり世界51位ということであ
す。にもかかわらず国際社会ではG7に
属し、西側での責任ある振舞いが問われ
ています。今の日本はそれに応える堅固
なモラルが十分にあるとは言えません。

賀川豊彦が今日に生きていたらどんな
働きをするのでしょうか？彼の生涯の前
期は救貧運動、中期は防貧運動。後期は

平和運動。伝道はたえず行っていました。若い時に「聖書社会学」（1922年）という内容の本を書いていて、その社会実践を「神の国運動」と呼んで労働運動、協同組合運動、平和運動を伴っていました。彼の「神の国」概念はきわめて包括的なものでした。

戦前の1930-35年の「神の国運動」では日本全国に大伝道集会をしました。戦後の1946-49年の「新日本建設キリスト運動」はキリスト教ブームに乗った大伝道集会を繰り広げました。戦前・戦後いずれも賀川が中心人物でありました。

『基督教年鑑』1948年版に収められた「キリスト運動と神の国運動」というページには、二つの運動の「日教」「回数」「聴衆数」「決心者」を記した表を載せた上で、こう述べています。

「今回の「新日本建設」キリスト運動は・・・昭和21年（1946年）春発意され、同年7月三ヶ年計画を以て口火を切ったが、前記神の国運動と比較すると、初年度において決心者数3・5倍、第二年度には同6倍の増という驚異的な成績を示している」。

しかしいずれも教会への定着率は低いのです。なぜでしょうか。その理由について皆様と共に考えたいと思います。

講演① 「賀川豊彦の社会奉仕スピリットを継承するには」

講演② 「二人のキリスト教指導者 賀川豊彦と南原繁」

参考文献

『公共福祉とキリスト教』（教文館）『閉塞日本を変えるキリスト教―公共神学の提唱』（いのちのことば社）

以上よろしくお願い致します。（稲垣久和）

二日目講師安間さんの紹介

安間孝明（あんまたかあき）氏



1957年生まれ。15歳の時、高校の教師の「安間、お前は真面目で良いが人間的魅力に欠けるぞ。」の一言で『人間的魅

？人間って、どこから来てどこへ行くのか？』と真剣に悩み始める。図書館で『キリスト教実物教訓』という本を借りて読んで「キリストを信じれば救われる。イエス・キリストは再び戻ってくる。」と分かった。それと同時に教会のトラクトが家に落ちていて教会に通い、その年の2月20日に信仰告白に導かれ、5月5日に洗礼を受ける。

又従姉妹が脳性小児マヒで生まれ、彼女との出会いを通じて福祉への道に導かれ、長野大学の福祉学科に入学する。大学では休眠していた聖書研究会を復活させ、複数の方が救われる。卒業後、重度の知的障害者の更生施設、上田明照会宝池住吉寮へ勤務する。画一的な生活と複数人の居室空間の入所施設のあり方に疑念を覚え、そこで出会った後妻になる女性に「自分の家は作らないが5、6人で住むケアハウスを作りたい。」と夢を語っていた。施設を辞め、沖縄の使徒訓練学校に入る。出会った女性も主イエスを信じ、後に結婚へと導かれる。

故郷の浜松に戻り、ビデオの制作会社を始める。この会社を成功させ、ケアハウスを始めようとするが、実現せず、神は、3日間同じ夢を見せ、開拓教会の召しと啓示を与える。

自宅を開放し、妻と2人で教会開拓を始める。このころ石井希尚氏とTBRを通じて出会う。彼を通じてアメリカのチャック・スミスが始めたカルバリーチャペルの牧師たちとの交流が始まり、3人の牧師から按手され、カルバリーチャペルの牧師として任命される。

2002年頃、教会を開放して、4名の障害者の方の日中支援を始めた。そこに7名の知的障害の人達が加えられ、週5日の本格的支援を始める。教会立で2年間は、ボランティア運営で行った。教会が母胎となり、NPO法人トータルケアセンターを創立する。

希望者が増え、現在、8事業所、130名ほどの方が加えられる。また、高齢福祉の足掛かりとして株式会社ホームサポートをNPOでグループに加える。現在、2事業所が加えられる。また、姉妹施設として生活困窮者の施設としてウオータバレーが菊川、浜松にある。

コミティッドジャパン浜松 牧師
日本民族総福音化運動協議会 理事
聖書と日本フォーラム 理事
李徳全研究會 副代表
アガペー研究會 代表
遠州地区牧師会 会員
一般社団法人 HEAVEN SE 理事
NPO法人 トータルケアセンター 代表
NPO法人 静岡県作業所連合会・わ
理事 長 西部地区会 会長
NPO法人 オールしずおかベストコミュニ
ニティ 副理事長
NPO法人 ハーモニー 理事
浜松筋ジストロフィーの会 顧問
浜松北商工振興会 理事

二日目講師紹介 遠藤正一氏



講演題名「賀川豊彦と、長谷川保のスピリット」
(共に切り拓いた。キリスト者としての実践、その行動と、精神)

○賀川豊彦先生と、直接お目に掛かった事もない、1955年生まれの者として、賀川豊彦と、長谷川保との関係や、
○「イエス友の『現三万原聖隷福祉事業団用地』の一坪献金運動」
○「日本国憲法制定時、生活保護法、その他立法時での賀川豊彦と、長谷川保との共同作業」
○様々な伝道活動、社会運動、

上記のこれらの歴史的分野については先輩諸氏の、研究と、書籍、捉えて私自身は、生身の、長谷川保の、キリスト者としてのその生き様をお伝えして、そのスピリットと行動、活動が、少しでも生きたキリスト者の姿として、見える事が出来たなら、聖書の使徒行伝29章、創る事を旨とする、イエスの友、メンバーに少しでも、励ましてと、勇気を、与えられる事を願います。

二日目夜 MINGIWA プロコンサルト 賛美コンサート



神奈川県出身。

クリスチャンの家庭に生まれ、幼少から教会に通い聖歌隊などで音楽に親しむ。アメリカで本場のゴスペルを聴き感銘を受け、音楽活動を開始。自身の不登校や引きこもりの経験を通して生み出された楽曲や、透き通る歌声で神様の愛を伝え、多くの人に勇気と希望を与えている。

ゴダイゴのタケカワユキヒデのサポートを受け、アルバム「蟻と宇宙」をリリース。ゴスペルCCM大賞アーティストオブザイヤー金賞を受賞。

その後、ストレスの中喉頭肉芽腫の大病により声を失い、一年間の活動休止。失意の中YWAMの弟子訓練の学びを受ける中、喉が癒され、活動を再開。

NHKラジオの人気番組「ラジオビタミン」のときめきインタビューに出演。全国の教会、学校、ライブハウスで歌う他、定期的に東北や熊本などの被災地を訪れ、ボランティアコンサートが続いている。7枚のアルバムをリリース。日本同盟基督教団教会所属。愛知県在住。

神の国は近づいた!



東京国際朝教会世話人
イエスの友会書記
大野剛

トランプとゼレンスキーの会談2、28は世界に衝撃を与えた。モノカネ権力

重視のトランプと人格良識重視のゼレンスキーは真向からの衝突だった。その結果地政学上大きな地殻変動が生じた。ユーラシア大陸は西部ヨーロッパ圏を軸として中部ロシア圏、東部中国圏という地域割りが確定した。英国および英連邦(カナダなど)は米国と決裂

した。ブラジルなど中南米諸国はもとより米国とは距離を置いてきた。よって米国は対外不干渉策というより孤立を強いられることになるだろう。米国主導体制の終りが始まった。対日政策はこの先ますます激しい要求になるのではない。それでも唯々諾々とした日本の外交路線には未だ変化は見られない。

イエスの時代、イスラエルはローマ帝国の属国であった。人々は重税に苦しみ、圧政からの解放を求めていた。イエスはその名が広まると人々のリーダーとして期待され、時には500名余の男子が集まった。そこでイエスが唱えたのは神の国の平和であった。武力による革命ではなかった。剣を取るものは剣で滅びる、右のほほを打たれたら左のほほを向けよと、愛による革命を説いた。それはイスラエル民族の解放にとどまらず、世界中の民族が共存し繁栄するという普遍的な革命を意味する。そして自ら率先垂範して十字架に付いたが、弟子たちはその事件を理解できなかった。しかし彼らは復活の主を心に迎え入れた時から、あたかも歩から金に成った駒のように縦横無尽に奔走した。主の証人として神の国の建設に献身した。

その後ローマ帝国がキリスト教を公認するとそれまでの緊張は解かれ、キリスト教は市民、兵士から奴隷にまで浸透した。信仰にローマ帝国主義という好戦的な体質が入り込んだことは想像に難くない。更に中世から近代になると啓蒙思想とそれに基づく個人主義思想が普及した。当時の神学者や聖職者はその影響を受けて、二王国論を議論した。これは信仰の土台においてイエスの時代のキリスト教とは異なる体質を現わす。すなわち私的信仰としてイエスの神の国を標榜するが、公的信仰として現実の国家を見定めよと唱えた。二王国論はルター派、改革派などキリスト教福音派の主流を占めていた。今日の核廃絶論に対する核抑止論に通じる。1980年代ドイツではこの議論に基づき、全教会の3/4がドイツ的キリスト教として熱狂的にナチス政権を支持したと言う。僅かに告白教会のボンヘッファーやバルトラが御言葉によるバルメン宣言を発表し命懸けでイエスの神の国を説いた。これは大戦後の贖罪の証言として巴統合の拠り所となったと言えるだろう。

混沌とする現在、キリスト者といえども様々な立場がある。互いに敬意を表し互いの立場を理解することが前提となる。そして主が唱えた神の国を目指して祈り合うことが求められる。少し時間がかかるかもしれないが、復活の主は今、世界中の人々に神の福音を伝え、「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」(マルコ書1:15)と諭す。私たちは弟子たちのように復活の主を心に迎え入れ、手を取り合って神の国建設に参画したい。(東京国際朝教会ニュース25、5号より)

会場 クリエイト浜松

2025年度第百回夏期 聖修会スケジュール



テーマ 綱領
『社会奉仕を旨
とすること』

聖書…ヨハネ1
5…14わたし
の命じることを行
うならば、あ
なたがたはわた
しの友である。
日時…2025
年7月28日
(月)～30日

(水)

会場…クリエート浜松2F 21講座室
430～0916 静岡県浜松市中央区
早場町2-1 (浜松駅北口から徒歩1
0分)

7月28日(月) 第1日目

13…00 受付開始

14…00～15…00 開会礼拝 奨

励…東海林昭雄さん 司会…金子信一

15…30～17…00 100回記念

基調講演 『賀川の社会奉仕スピリ

ットを継承するには①』講師…稲垣久和

さん 司会 大野剛さん

17…30～18…30 夕食 本日のみ

の参加者より一言

19…00～20…30 『賀川の社会

奉仕スピリットを継承するには②』講師…

稲垣久和さん 司会 大野剛

7月29日(火) 第2日目

各自、会場、聖隷クリストファー大学聖隷
歴史資料館まで、時間までに集合

9…30～10…00 早天集会 奨

励…佃和男 司会 長谷川勝義さん

10…00～10…30 聖隷歴史資料

館 見学

10…30～12…00 講演 遠藤正

一さん 「イエスの友と長谷川保」 司

会 長谷川勝義さん

マイクロバス・自家用車で場所移動

12…00～13…00 昼食 近くの

名物料理 昼食後移動 「キリスト教福

祉の可能性」 講師 安間孝明さん

司会 高島史弘さん

会場 グレースガーデン浜松

17…30～18…30 夕食 卓主…

事務局依頼 参加者より一言

19…00～20…30 賛美コンサート

司会 菅野直基さん

ゲスト M.I.G.I.W.Aさん

場所 NPO法人トータルケアセンター

7月30日(水) 第3日目

9…30～10…30 活動報告会

司会 事務局

10…30～11…30 イエスの友会

大会 司会…事務局

小川忠夫元事務局長を偲ぶ時

11…30～12…00 開会礼拝 奨

励…長谷川勝義 司会 小野島正彰さ

12…00～13…00 昼食 片付け

移動

14…00～15…00 路傍伝道(自由

参加)・解散

参加費 全日10000円(弁当4食分

含む 宿泊は別途各自)

部分参加1日10000円と弁当代

申込は同封振込表にて振込をもって申し

込みとする。申込締め切り7月12日(土)

・オンラインでの参加・視聴を希望の方は

事務局まで、メールで連絡。接続先をメー

ルで連絡します。オンラインも一日千円の

参加費 振り込みをもって申込とする。申

し込み締め切り7月12日

近くのホテル紹介

○ アパホテル浜松駅前

053415613511

○ ホテルセレクトイン浜松駅前

05345511188

○ 浜松ターミナルホテル本館

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

「二〇二四年度会計報告」

加入者名 「イエスの友会本部」 一いつ

も、支援を心から感謝申し上げます (会計担当

小野島正彰)

2025年度イエスの友会新役員

(2025.2.18の春期聖修会中央委

員会において以下のように新役員が承認

されました。)

顧問 鈴木武仁

会長 東海林昭雄

副会長 長谷川勝義

書記 大野剛

会計 小野島正彰

事務局長 高島史弘

同補佐 及川健治

イエスの友会新会員を募集していま

す。新たな百年に向けて新会員を募集してい

ます。イエスの友会の五綱領の趣旨に賛

同する者は、教派を問わずなたも会員に

なれます。登録費五百円と年間会費三千元

を払えばイエスの友会の機関誌「火の柱」

(年四回発行)お送りします。ぜひ、多くの方

に入ってほしいと願っています。事務局に

会員登録申込書をご請求ください。

「火の柱」 第743号

発行人 東海林昭雄

発行所 イエスの友会本部

発行日 2025年6月30日

本部事務局4411 8016 愛知県豊橋市弥

生町西豊和4-7

高島史弘(イエスの友会 事務局長)

携帯 090-9994915190メール

takahima.nc33@japan.email.ne.jp

郵便振込加金名 イエスの友会本部

口座番号 0017071495586

火の柱編集 長谷川勝義

火の柱原稿メール先 h.jpoc58@xj.comuifa.jp

〒440-0026 愛知県豊橋市多米西町2-

2012 電話・FAX 0532-61

4822